

専門実践教育訓練明示書(様式例)

講座の名称	機械学習・深層学習オンライン(Live配信)講座/対面講座		
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)		
指定講座番号	1310223-2110011-9(2022年3月末までの指定番号:48223-211001-4)		
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間	過去一年の講座実績	入講者数(65人) 修了者数 (46人)
2018年 4月 1日	2024年 3月 31日まで		
訓練期間	9ヶ月	総訓練時間	36時間

1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 () <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input checked="" type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ()
	教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 日本ディープラーニング協会認定E資格
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	エッジテクノロジー株式会社
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	【機械学習】最終開発課題の提出およびエラーがでていない状態・機械学習モデルの評価で5割以上の精度がでている・知識・技術テスト合計で全体の7割以上の正解率【深層学習】全体の7割以上の正解率・各問いにおける比較結果
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	データサイエンティスト、データアナリスト、AIエンジニア、機械学習エンジニア、プログラマー

2. 教育訓練の内容

教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名
機械学習概論/最終開発課題の説明	2	
教師あり学習アルゴリズムの考え方と実装	4	
データ前処理と次元削減	2	
グループワーク/AI演習プロジェクト	4	
ハイパーパラメータチューニング	2	
最終開発課題/知識・技術テスト	2	
パーセプトロン、誤差逆伝播法/正則化、半教師あり学習・Dropo	4	
最適化、二次手法の近似	2	
CNNの基礎、各手法、仕組みの理解と実装	4	
RNNの基礎、各手法、仕組みの理解と実装	4	
生成モデル、強化学習、知識・技術テスト	6	

3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	プログラミング経験、SQLの経験
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	エンジニア経験(現在、過去問わずプログラミング経験者、pythonだと尚良し) マーケティング経験(分析経験者、SQLの知見あれば尚良し)※上記いずれかの経験年数半年以上が目安。学生でプログラミングを学んだ方や理数系出身者も参加可能 高校数学の知識
③その他	

〔特記事項〕

専門実践教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	45	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	80	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	45	人	受験率(③/②)	56.0	%
④ ③のうち合格者数	45	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	24	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	29	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	23			
	2 非正社員、派遣社員	1	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	24	
	4 非就業	5	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	5	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	5	人		
	3 社内外の評価が高まる	5	人		
	4 円滑な転職に役立つ	4	人		
	5 趣味・教養に役立つ	4	人		
	6 その他の効果	1	人		
	7 特に効果はない	0	人		24
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	2	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる	2	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	1	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		5
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	5	人		5
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	10	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	17	人		
	3 どちらとも言えない	2	人		29
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	課題提出
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

専門実践教育訓練明示書（様式例）

6. 受講効果の把握方法																			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	出席率60%以上、試験合格率その他、補講・追試はその他出席率6割および前期科目の課題提出																		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	課題提出																		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率60%以上、試験合格率得点率70%以上で合格、補講・追試は認める。																		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業試験(修了試験)のみ																		
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生ごとの習熟度に合わせて適切な参考書の案内 ・講義後の復習用ワークを理解レベルに合わせた設問を出題 																		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの質問対応(slack) ・就職希望者面談 ・合同採用説明会 																		
8. その他の事項																			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	エッジテクノロジー株式会社 (代表者名: 住本幸士)																		
住所及び連絡先	東京都千代田区神田須田町1-32-7 クレス不動産神田ビル5階 TEL 03-6205-7595																		
施設名称及び施設長名	エッジテクノロジー株式会社 (施設長: 久永)																		
住所及び連絡先	東京都千代田区神田須田町1-32-7 クレス不動産神田ビル5階 TEL 03-6205-7595																		
苦情受付者	氏名 西野 所属 AI教育事業部	事務担当者	氏名 道上 所属 AI教育事業部																
連絡先	TEL 03-6205-7595	連絡先	TEL 03-6205-7595																
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 円																		
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) 円																		
① 一括払																			
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%; text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">第1期 190,518</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">第2期 95,262</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">第3期</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">第4期</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">第5期</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">第6期</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">(うち、必須教材費</td> <td style="text-align: right;">円)</td> </tr> </table>				円	第1期 190,518	円	第2期 95,262	円	第3期	円	第4期	円	第5期	円	第6期	円	(うち、必須教材費	円)
	円																		
第1期 190,518	円																		
第2期 95,262	円																		
第3期	円																		
第4期	円																		
第5期	円																		
第6期	円																		
(うち、必須教材費	円)																		
③ 両方可																			
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 円																		
	① 任意の教材費(税込額) 円																		
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) 円																		
	③ 施設維持費(税込額) 円																		
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) 円																		
	3. 総額 (1+2) (税込額) 285,780 円																		